

ぎふ感染症かわら版



令和 8 年 9 月 1 7 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

9 月 24 日～9 月 30 日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です！

結核は過去の病気だと思っていませんか？ 世界では年間 1,000 万人以上、日本国内でも 1 万人近い人が発病しており、発見が遅れたり、適切な治療が行われないと命を落とすこともある重大な感染症です。早期に発見し適切に治療することで、結核のまん延を防ぐことができます。この機会に、結核やその他の呼吸器感染症について正しい知識を身につけ、早期発見と感染予防に協力をお願いします。

◆結核の現状◆

世界では

発病した人 **1,070 万人**
亡くなった人 **123 万人**

(2024 年 WHO 推計)

- 世界の総人口の約 2.5% が感染している。
- 薬が効きにくい薬剤耐性結核の患者の 5 人に 2 人しか治療を受けていない。
- 結核と人免疫不全ウイルス（HIV）の重複感染も問題となっている。

日本では

発病した人 **9,899 人**
亡くなった人 **1,474 人**

(2025 年統計)

- 日本は人口 10 万人当たりの罹患率が 10 を下回る低蔓延国ではあるが、欧米の先進諸国に比べると罹患率が高い。

諸外国との罹患率比較

アメリカ	3.2	韓国	35
イタリア	5.0	中国	49
カナダ	6.2	ベトナム	182
フランス	7.8	インドネシア	382
日本	8.0	フィリピン	625

岐阜県では

発病した人 **196 人**

(2025 年統計)

- 人口 10 万人あたりの罹患率が全国よりも高く、全国でワースト 3 位

順位	都道府県	罹患率
ワースト 1	大阪府	13.4
ワースト 2	徳島県	10.5
ワースト 3	岐阜県	10.4
ワースト 4	鹿児島県	10.3
ワースト 5	兵庫県	10.1
最も低い	山梨県	4.5

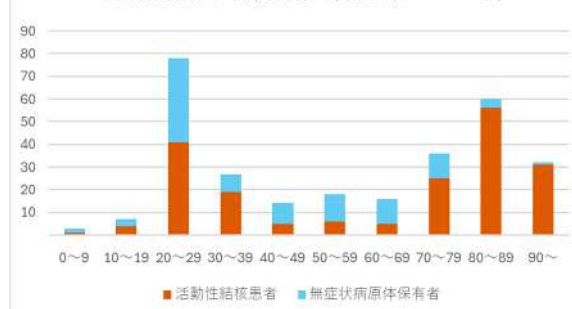
2 倍以上！

- 全国では罹患率が年々減少しているが、岐阜県では、2024 年、2025 年と連続して増加している。
- 年齢別では、20 歳代～30 歳代と 70 歳代以上で多く、岐阜県では特に 20 歳代の占める割合が全国平均より高い。（岐阜県：26.8%、全国 16.9%）
- 20 歳代～30 歳代の患者のほとんどは外国生まれの人。

結核罹患率（人口 10 万対）



年齢階層別患者報告数（岐阜県：2025 年）



◆結核の基礎知識◆

どんな病気なの？

結核患者の咳などで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを吸い込むことで感染します。感染しても通常は免疫により抑え込まれて、すぐに発病はせず、結核菌が体の中で休眠状態になります。その後、数年後、数十年後に免疫力が落ちた時に菌が活動を始めることで発病します。主に肺に炎症が起き、咳、痰、発熱、呼吸困難等の症状が出ますが、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

主な結核の症状

- ・咳やたんが長引く
- ・微熱が続く
- ・胸が痛い
- ・体重が減る
- ・体がだるい



早期発見のためには？

たんのからむ咳や、微熱やだるさが2週間以上続くときは早めに医療機関を受診しましょう。重症化を防ぐため、また結核のまん延を防ぐため、早期発見に心がけましょう。

症状がなくても、学校や職場、地域の定期健康診断をきちんと受けましょう。



結核は治るの？

結核は通常、医師の指示どおり薬を飲むことで治療できます※。治療期間は6～9か月ほどです。しかし、薬を途中でやめてしまうと、結核菌が薬に対して抵抗力をつけ、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまうことがあります。

また、結核を発病していなくても感染していることがわかった場合は発病を防ぐために服薬治療を行います。 ※治療費用は公費の助成が受けられます。

◆呼吸器感染症の基礎知識◆

どんな病気なの？

様々なウイルスや細菌の感染によって呼吸器の炎症が起きる病気のことをいい、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、百日咳、マイコプラズマ肺炎などがあります。

予防するには？

「手洗い」、「マスクの着用を含む咳エチケット」が基本です。帰宅時や食事の前などのこまめな手洗いと手指消毒を励行し、咳やくしゃみをするときは、マスク、ティッシュ、ハンカチなどで鼻と口を覆うようにしましょう。

＜非結核性抗酸菌症啓発週間＞

今年から、「結核・呼吸器感染症予防週間」に合せて、「非結核性抗酸菌症啓発週間」が設けられました。非結核性抗酸菌症は、長引く咳やたんなど結核に似た症状が出ますが、通常、人から人へ感染しません。土壌や水などの環境中にいる菌が肺に入り、ゆっくり炎症を起こす病気です。気になる症状が続くときは早めに医療機関を受診しましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

